

町田市議会議員・ネット発信NO.1

# 吉田つとむ

ユーチューブ動画 860万回再生を突破



## 多摩ニュータウン再生PJ視察

多摩市議会議員の岩永ひさか議員の紹介で、多摩ニュータウンの松が谷団地(八王子市)にある商店街を訪れました。そこには、スーパー跡地の建物を改修し、「コミュニティプレイスまつまる」がこの7月下旬に出来ていました。パンフレットには、そのミッションとして、①、子どもから高齢者、障がい者も生き難さを抱える人も、共に自分らしく最後まで暮らす、多世代・多文化の共生型コミュニティの創造。②、団地内で生活の7割が賅える地産地消型の創造(食・文化・学び・ケア・仕事・やりがい・エネルギー)③、多摩ニュータウンに活性化モデルを創り、他の団地に普及。④、団地再生を担う人材育成。と記していました。

このプロジェクトを企画したのは、一般社団法人 コミュニティネットワーク協会(渥美京子理事長)で、この日はご挨拶のみで、実際には企画担当理事の伊藤晶子氏(株式会社ソーシャル代表取締役)にご説明を頂きました。その他には、このコミュニティネットワーク協会の顧問を務めておられる、共生社会グループの高橋英典代表からも、この多摩ニュータウン再生PJに至る取り組みの経過や実績の話をお伺いしました。



左が岩永議員、右は研修生の小林怜奈さん

その高橋英典氏は、全国に豊富な数を誇る高齢者住宅を作り上げ、それを後継者にゆだね、現在は福祉を起点にしたコミュニティ拠点づくりをプランナーとして手掛けられているようでした。企画担当理事の伊藤晶子氏は、こうしたプロジェクトの取り組みでは、現地に住居し、この利用者を組織化することと、各テナントの入居を確保するオルガナイザーの役務されているようでした。

この「コミュニティプレイスまつまる」には、個別目的に分割したスペースとレンタルスペースがあります。事業運営の中核は、障がい者雇用のスペースで、カフェやショップなどの運営に当たっているようです。当初は、このまつまるを企画した、一般社団法人コミュニティネットワーク協会が主要な部門の運営しているようですが、いずれほどのスペースも入居店舗が自前で運営していくのでしょう。このネットワーク協会の企画立案、参加者募集するノウハウが、いかに地域の事業者自身で備なえていくべきかと思つてみたいと思います。(続く)

施設内の具体的な記述は次回になります。

◎町田市議会は定数36名。大多数はそれぞれの会派に所属しますが、会派に属しない諸派議員が4名です。吉田つとむは、「無所属」という3名の会派に所属しています。議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。

その会派「無所属」の3名は、採決において、自由に賛否を決める場合があります。

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員(4期連続トップ当選)

<編集発行>

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
自宅 042-795-7361  
FAX 042-795-2726  
yoshidaben@gmail.com



## 18歳までの医療費助成制度を

町田市議会は全員一致して、「18歳までの医療費助成制度の拡充を求める意見書」を決定しました。その背景は以下の通りです。

東京都は令和5年度から、子どもの医療費助成制度を18歳まで広げること決めました。東京都の提案は、所得制限と窓口負担200円を設け、3年間は東京都が全額負担し、それ以降は市区町村が2分の1を負担するというものです。このことについて、東京都23区の特別区長会は、区が自主財源を上乗せして「所得制限なし、自己負担なし」で来年度から実施することを発表しました。一方で財政力が弱い多摩・島しょの市町村は、23区と同様の上乗せを行うことは困難であり、このままでは多摩格差が一層大きくなる兆候にあります。

そのため、当初に18歳までの医療費の無料化を図る措置が東京都全域に及ぶように、都が責任を持って財源で負担することを求めたものです。なお、その意見書では、現行の義務教育就学児(小中学校児童・生徒)の医療費助成が市区町村の財政事情で、所得制限、自己負担の取り扱いに格差が生じており、それを東京都全域で格差を取り除くための体制づくりを求めました。



## 町田市の「都市計画税」は増税が決定！！

この間、議会内で攻防を繰り返していた課題に「都市計画税の税率決定」がありました。都市計画税は、他の税と違って国がその税率を決めるのではなく、それぞれの自治体が0.3%までの範囲で税率を決定でき、それも町田市では、行政が提案する方法ではなく、議会が提案・決定する方法を採用してきました。

一昨年は、臨時議会を開いて0.24%を維持することを多数決で決め、昨年さしたる論議も無く、その税率を維持(0.24%)しましたが、今年は、現行を値上げして0.27%とする多数派が形成され、私たち(0.24%を提案、無所属・共産党・諸派の維新グループ)は少数派となり、多数決で押し切られました。残念ながら、町田市の都市計画税は現行の0.24%から0.27%に来年4月から値上げになります。

表決

新井よしのぶ	吉田つとむ	松岡みゆき	田中哲子	佐々木直子	おぎまき	矢口まゆみ
赤	緑	赤	赤	赤	赤	赤

表決中

町田市議会は電子表決、緑色は0.24%維持

この間、市民・住民の可処分所得が低下する傾向にある上、今後の物価の上昇が見込まれる時、増税は無かろうと思います。近隣他市で、都市計画税を値上げする都市議会は無かろうと思いますが、町田市の特徴は、今年(令和4年)に市議選が終わり、この時ばかりと値上げが多数で決した次第です。

- ◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう!
- 支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。
- 吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。
- 吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは  
左記を読込  
して送信



好評インターンシップは、第51期生を募集予定

## インターン体験記⑤近藤 咲月

町田市議会定例会の一般質問に対するヒアリングを各部署の方が、議員と行うところを拝聴させて頂きました。

ヒアリングが始まる前には実際に議会が行われる会場(本会議場)を見学させて頂き、テレビなどでは観たことはあっても実際の会場というものは緊張感漂うものであると感じました。また議長や市長の方が座る椅子を見て、実際に大勢の人が会場に入るとなるとさらに緊張感は増すものだと思います。ヒアリングの時間では吉田議員が議会で行う3つの質問に対して各部署の方が5~6人程、吉田議員のもとを訪れて、その趣旨を聞き出すと言うものでした。



昭和女子大生2年生 近藤 咲月(第50期生)

吉田議員の質問は「町田市は中核市を目指すのか」「保育施設の近況と展望について」「日大三高野球部の小倉監督の偉業について」の主に3つに分かれており、多岐にわたる分野に対して該当する部署の方と対話される様子を見て、市の役員が一つになって「町田市」の実態と将来について考え話し合いを進めていくものだと見受けられました。このような対話を直接その場でお聞きすることができとても貴重な機会となりました。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年9月末までに103名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎次期のインターンシップは第51期生となりますが、これから募集する段階です。

## インターン体験記⑤下津陽菜乃

今回は吉田つとむ議員の元インターンシップ生で、私が現在通っている大学のOGでもある石井さんとお会いし、そのお仕事の内容や就職活動についてのお聞きしました。

お話の中で特に印象に残ったことは就職活動の軸についてです。大学で受けた就活についての講座の中でも就活の軸の大切さについては言われていたのですが、自分の中で就活の軸を決めていたのですが、石井さんの就職活動の経験を聞いて自分の就職活動の軸について見直すことができました。就職活動の軸がしっかりとしていないと企業選びにも影響しますし面接でも聞かれる可能性があるため、石井さんのお話を聞いてもう少し考える必要があると感じました。また、石井さんは私の大学のOGでもあるので大学で受けることができる就職サポートについても聞くことができました。これからぜひ活用していきたいと思いました。

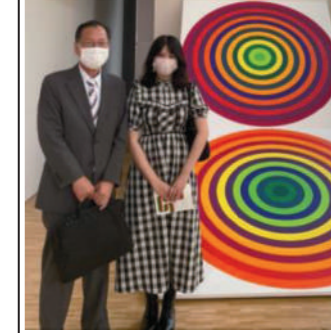
今回石井さんと直接会ってお話をさせていただいたり、アドバイスをいただくことができ、これからの就職活動に役立つことをたくさん知ることができました。これから本格的に就職活動について考えていかなければいけないので、今日学ばせていただいたことを活用して頑張りたいと思います。



昭和女子大生3年生 下津陽菜乃(第50期生)

インターンシップで若者育成の貢献  
町田市議・完全無所属・良識ある保守

# 吉田つとむ



好評インターンシップは、欠かさずに続いている

## インターン体験記③小林 怜奈



無所属会派の議員3名と傍聴の小林怜奈さん

今回、私は健康福祉常任委員会を傍聴させて頂きました。健康福祉常任委員会では、厚生労働省告示の改正に伴う町田市民病院の使用料改定や決算認定、令和4年度(2022年度)町田市一般会計補正予算(第3号)や令和3年度(2021年度)町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定の保健所と地域福祉部が所轄する部分、行政報告が行われました。

委員(議員)からの決算質疑は金額、数値に対する質問が多くあり、私はその中でも特に気になった議題について取り上げようと思います。

それは障害者の方が月10000円で働いている事です。市の担当者曰く、送迎費や昼食代は本人負担とされるとのことで、私はその給料だけで本当に障害者自身の権利が尊重される、自立した生活を送る事が出来るのだろうかという疑問に思いました。何としてでもこの障害者の労働を取り巻く状況が好転することを期待します。

茨城大学1年生 小林 怜奈(第50期生)

◎吉田つとむのインターンシップは、参加者との個別対応が特徴です。

◎吉田つとむのインターンシップは、社会人になった先輩インターン生との直線面談が好評です。

◎吉田つとむの元インターン生は、一般企業就職が最大で、次いで公務員。弁護士が3人。

## インターン体験記⑧-①岡本麻鈴

町田市民文学館ことばランドを訪問

町田市民文学館ことばランドを訪問しました。学芸員さんの案内で木版画・絵本作家の竹上妙さんの展覧会『たけがみ ZOO 展〜いきものと目が合った!〜』を観覧しました。会場に行く途中の階段から会場には竹上さんが段ボールをいきものの形に切り抜き、創り上げた作品が展示されていました。小さなお子様目線に合わせて低い位置にも作品が展示されているのにも感心しました。竹上さんの作品はどれも目がすごく印象的で、いきものを「見ている」はずの自分がいつの間にかいきものに「見られている」感覚「みたら、みられた」体験を私自身もすることができ、いきもの達の力強い生命を感じました。

それだけでなく、文学館内の原画や原稿、資料などを保管している場所にも案内していただきました。たくさんの貴重なものを見させていただきました。町田市から大勢の作家さんが輩出されていたり、町田が舞台となっていたり、登場する本もたくさんあって驚きました。本を通して町田市の魅力を再発見していきたいと思いました。



玉川大学1年生 岡本麻鈴(第49期生・継続)